

安全安心なまちづくりについて



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 県道下滝野市川線の馬渡谷町の坂や二ツ池周辺の安全対策につき、山側から覆いかぶさる樹木対策、側溝への蓋掛けは怎么样了のか。二ツ池のカーブ周辺道路のひび割れもあり、舗装整備を県へ要望していただきたい。

答 県が9月末までに道路境界から山側1メートル程度の草刈り剪定を行うとのことで、これにあわせて法面の樹木の剪定についても要望しました。また、昨年の側溝蓋掛けの要望では、検討したいとのことでしたが、今回改めて

県へ確認したところ本年度中に対応を考えますとの回答でした。具体的な工事内容、工期が決まり次第、地域の皆様に連絡させていただきたいと思います。

問 市道鴨谷別所線について、大型車両の通行も多く路面の損傷も著しい。現在の道路状況や整備計画は。

答 交通量も多く特に路面の傷みがあり、通行に課題があることは認識しておりますが、市単独の事業実施は困難であり、これまで舗装補修の事業として国へ社会資本整備総合交付金の要望を行っていますが、大変厳しい状況です。今後も事業採択に向け要望活動を行い、交付金獲得による事業実施を目指したいと考えます。

問 本来あるべき道路幅の一部が欠く状況、通常有すべき

安全性を欠いている。管理者として責任が問われる問題と思うが。

答 ご指摘の状況は確認しています。今、こういった工法がよいかも含め検討しており、安全対策についてしっかりと努めたいと思います。

問 都染町、青野町、野上町の町境が非常に暗く、通学の子どもにとって危険である。周辺では、車上荒らしも発生しているが、防犯灯の増設について。

答 整備がおくれた状況があり、地元の方々と協議し、積極的に整備したいと考えます。

■その他の質問項目

- ・中高連携教育について
- ・女性の権利と社会参加について
- ・若者活動について

児童の安全対策について



織部 徹 議員
(21 政会)

問 児童の安全対策として、ワッショイスクールや見守り隊などの活動があり、おかげで加西市では、児童を取り巻く事件が聞かれないが、不審者情報はいまだなくならず、危険な状況は続いている。本年5月7日に、新潟市で下校中の女子児童が殺害され、線路上に放置されるという痛ましい事件が発生した。見守り隊の活動状況についてお聞きしたい。

答 市内11校の子ども見守り隊は約1,200人で、市内同色の上着やベストを着用し、不審行

動への抑止力としての役割を果たしています。PTAも防犯啓発のステッカーやのぼり旗を市内各所に設置し、啓発、不審行動への抑止力に効果を上げています。

問 各学校の状況や地域によって違いがあり、活動できる範囲に限界もあると思うが、見守り隊の目の届かないところや児童が一人で帰るような場所等について、検証や点検はされているのか。

答 日頃から児童への安全指導や防犯ブザーの携帯など身を守る指導にも取り組んでおり、保護者や地域の方、あらゆる機関と連携協力をとることで、目の届かないところを極力減らすように取り組んでいます。

問 学童保育は、夕刻に保護者が直接迎えに来るため、安全に下校できると思う。学童保育

は保育料が必要なため、支払いに困る人は断念しなければならない。利用したい人が、もっと利用できるように料金を安くできないか。

答 保育料は現在、月額6,000円、夏休みの8月は1万2,000円で、料金は近隣の市町村とほぼ同水準です。加西市では4、5歳の保育料の無料化を行っており、平成31年10月から国が保育料を無料化すれば、加西市が支出している年間1億7,000万円が財源余剰となり、学童保育も含めた子育て支援の充実を図ることができればと考えます。

■その他の質問項目

- ・県道下滝野市川線の整備について
- ・市道満久都染線の満久西野々町間の整備について